

教科目標		数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。					
月	単元・題材名	時数	学習内容	学習のねらい	評価項目	道徳の項目	
4	式の計算	16	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式、多項式、次数の意味を理解する。 ・同類項の計算、多項式どうしの加減の計算をする。 ・単項式どうしの乗除の計算や乗除混合計算をする。 ・数と多項式の乗除の計算および、やや複雑な計算をする。 ・数量及び数量の関係を文字式を使って一般的に表現し、数や図形の性質が成り立つわけを説明する。(数学的活動) ・目的に応じて等式を変形する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単項式・多項式のしくみや式の次数について理解している。 ・同類項の意味を理解し、それらをまとめることができる。 ・多項式どうしの加減や単項式どうしの乗除などのいろいろな文字式の計算が能率的かつ正確にできる。 ・数量及び数量の関係を、文字式を使って一般的に表現し、形式的な処理を行うことによって、数や図形の性質を説明することができる。 ・目的に応じて等式を自由に変形することができる。 	テスト 提出物 観察	2-(1) 礼儀の大切さ 1-(1) 望ましい生活習慣 2-(3) 友に学ぶ 2-(5) 人と人との交わり 4-(1) きまりを守る	
							5
6	連立方程式	16	<ul style="list-style-type: none"> ・2元1次方程式とその解、また、連立方程式とその解の意味を理解する。 ・連立方程式を解くには文字を1つ消去することを理解し、その方法として加減法、代入法があることを知り、それらの方法で連立方程式を解く。 ・身のまわりの問題から必要な数量を取り出し、それらの数量の間の関係をとらえ、連立方程式の利用を考える。問題づくりを通して、伝え合う活動をしていく。(数学的活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2元1次方程式や連立方程式の解の意味を理解している。 ・加減法・代入法の意味を理解し、これらの方法で連立方程式を解くことができる。 ・具体的な事象の中の数量関係を的確にとらえ、連立方程式を作ることができ、それを利用して問題を解決することができる。 	テスト 提出物 観察	2-(3) 友に学ぶ	
							7
							9
10	1次関数	20	<ul style="list-style-type: none"> ・1次関数の意味と変化の割合の意味を理解する。 ・1次関数のグラフをかき、変化の割合とグラフの傾きの関係を調べ、特徴を理解する。 ・直線の式の求め方を理解する。 ・2元1次方程式のグラフの意味を理解する。 ・連立方程式の解とグラフとの関係を理解する。 ・日常の事象の問題を1次関数を用いて解決する。 ・携帯電話の通話料金等が1次関数であるととらえ、表やグラフに表し、その変化や対応の特徴を説明する。(数学的活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1次関数の特徴を比例や反比例の関係と比較しながら積極的に調べようとする。 ・1次関数の特徴を、表・式・グラフを相互に関連づけて統合的に理解している。 ・直線の式を求めることができる。 ・2元1次方程式と1次関数は同じ関係を表していることを理解し、グラフを能率的にかくことができる。 ・連立方程式の解がただ1つに決まることを、2直線の交点の数と関連づけてとらえることができる。 ・連立方程式の応用問題をグラフを用いて解くことができる。 	テスト 提出物 観察	4-(4) 役割の自覚	
							11
12	平行と合同	16	<ul style="list-style-type: none"> ・多角形や色々な図形の内角・外角の和を類推しながら、一般化をはかり多角形の内角・外角の性質を理解する。(数学的活動) ・対頂角、同位角、錯角の意味を理解する。 ・平行線と同位角、錯角の関係を理解する。 ・合同な図形の性質を理解し、作図を通して三角形の合同条件を理解する。 ・証明の意義やしぐみ、手順を理解し、簡単なことからの証明をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多角形の内角の和や外角の和を、三角形の角の性質などをもとにして求め、その性質を理解している。 ・対頂角の性質や平行線と同位角、錯角の関係をj用いて、根拠を示しながら角の大きさを求めることができる。 ・三角形の合同条件を用いて、三角形どうしが合同かどうか判断することができる。 ・簡単な命題を、手順に従って証明することができる。 	テスト 提出物 観察	2-(3) 友に学ぶ 2-(5) 相手の立場で	
							1
							2
12	三角形と四角形	23	<ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形や正三角形の性質などを、三角形の合同条件を用いて証明する。 ・用語の定義や命題の逆の意味を理解する。 ・直角三角形の合同条件を理解し、それを図形の性質の証明に用いる。 ・平行四辺形の性質を証明する。 ・模型を使って平行四辺形であるための条件を見だし、それを証明する。 ・長方形、ひし形、正方形の相互の関係を理解する。(数学的活動) ・平行線と面積の性質を理解し、それをj用いて図形の面積を変えないで変形する。(数学的活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の合同条件を理解し、それに基づいて三角形や平行四辺形の性質を論理的に確かめることができる。 ・図形の証明を、直角三角形の合同条件を適切にj用いて書き表すことができる。 ・平行四辺形の性質を用いて、図形の性質を的確に証明することができる。 ・平行四辺形であるための条件を用いて、図形の性質を証明することができる。 ・四角形の包摂関係をとらえ、理解している。 ・平行線と面積の定理を適切にj用いて、やや複雑な等積変形を行うことができる。 	テスト 提出物 観察 レポート	2-(3) 友に学ぶ 1-(4) 理想の実現 4-(4) 役割の自覚	
							2
3	確率	9	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事象についての観察や多数回の実験を通して、確率の意味を理解する。(数学的活動) ・同様に確からしいの意味を理解し、場合の数から確率を求める。 ・樹形図や表を利用していろいろな確率を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の事象の起こりやすさの程度を1つの数で表すことに興味をもち、積極的に実験を行い調べようとする。 ・不確定な事象が起こり得る程度を表す確率の意味を理解し、簡単な場合について確率を求めることができる。 ・目的に応じた樹形図や表を利用していろいろな確率を求めることができる。 	テスト 提出物 観察	2-(3) 友に学ぶ	
							3
3	まとめと課題学習	5	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習してきたことを総合的にとらえ、内容をさらに深めたり発展的に考えたりし、身のまわりの事象を数学的にとらえ、論理的に思考する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 ・既習事項を整理し、活用しようとする。 		2-(3) 友に学ぶ 1-(5) 反省と向上	
							3

合計授業時数 105 時間

<学習のアドバイス>

1. 教科書、プリントを見て学習したことをおさらいし、「数学の問題ノート」で学習したことを定着させる。
2. 家庭学習でパワーアッププリントを利用して授業の内容を必ず復習する。また、次の内容を読んで、どの部分がわからないかチェックする。
3. 授業では、予習でわからなかった箇所に注意し、わからない時は質問し、わかるようにして帰る。
4. テスト前は教科書をおさらいし、ノートの赤色の部分(重要事項や間違えた問題など)をもう一度解く。問題集にも挑戦。
5. 毎日の生活では身のまわりにある数や図形を、より深く考えたり、要領よく処理しようとする習慣をつける。物事を論理的にとらえ、ことばを論理的に説明するよう心がける。